

平成17年5月 定例教育委員会 会議録

平成17年度塩尻市教育委員会5月定例会が、平成17年5月20日午前9時30分、総合文化センターに招集された。

会 議 日 程

- 1 開 会
 - 2 前回会議録の承認
 - 3 教育長報告
 - 報告第1号 6月の行事予定等について
 - 報告第2号 後援・共催について
 - 報告第3号 図書館計画懇話会について
 - 報告第4号 小丸山遺跡復元住居火災について
 - 4 議 事
 - 議事第1号 塩尻市教育委員会規則で定める様式における敬称の取扱いに関する規則
塩尻市教育委員会訓令で定める様式における敬称の取扱いに関する訓令
塩尻市教育委員会告示で定める様式における敬称の取扱いに関する規程
 - 議事第2号 平成17年度教育委員会基本方針(案)について
 - 議事第3号 奨学生の選考について
 - 議事第4号 「こんにちは教育委員会」の実施について
 - 5 その他
 - その他第1号 合併記念式典について
 - その他第2号 教育委員会ホームページについて
 - その他第3号 蝶の博物館の名称について
 - その他第4号 檜川地区小学校の統合について
 - 6 閉 会
- 出席委員
- | | | | |
|-----|---------|----------|---------|
| 委員長 | 百 瀬 哲 夫 | 委員長職務代理者 | 百 瀬 道 能 |
| 委員 | 丸 山 典 子 | 委員 | 岡 本 た ま |
| 教育長 | 藤 村 徹 | | |
- 説明のため出席した者
- | | | | |
|---------|---------|----------|-----------|
| こども教育部長 | 赤 羽 修 | こども教育部次長 | 丸 山 保 |
| こども課長 | 酒 井 正 文 | 家庭教育室長 | 樋 口 千 代 子 |
| 生涯学習部長 | 武 居 和 雄 | 生涯学習部次長 | 神 戸 保 |

社会教育課長	白 木 進	短歌館館長	山 崎 千 尋
スポーツ振興課長	竹 原 次 男	男女共同参画課長	山 田 昭 文
人権推進室長	青 木 弘 貴	文化会館館長	北 沢 久 男
文化会館副館長	川 手 てる 子		

○ 事務局出席者

教育企画担当課長 小 島 賢 司

1 開 会

百瀬教育委員長

おはようございます。ただいまから5月定例教育委員会を開会します。本日は協議内容が多いので議事進行にご協力をお願いします。

2 前回会議録の署名

百瀬委員長

最初に前回会議録の署名についてですが、教育委員会会議規則に基づくものです。事務局からお願いします。

小島担当課長

会議録につきましては、4月定例教育委員会及び協議会について調整したものをお届けしています。記録内容に訂正がある場合はご指摘をいただき、訂正を加えて会議終了後ご署名をお願いしたい。

百瀬委員長

委員の皆さんから訂正があればお願いしたい。
ないようですので後ほど署名をお願いします。

3 教育長報告

藤村教育長

委員の出席に感謝

教育委員会が新しい組織となって1か月半が経過。胎児から18歳までの発達段階に一貫した対応をする趣旨としている。課題への成果を求めるとは、教育に携わる職員の意識が趣旨に添ったものをもつことが成果につながる。たとえば保育園と小学校の連携では、保育士が自分たちの会費で研修等を実施している保育会総会が先日開催され、これに参加した折り返し最後に若い保育士からの決意表明があり、これまでは保育の中で子供たちの養育を中心に仕事を進めてきたが、教育委員会の一員となり今後は教育にも力を入れたいとの発言があった。保育士の意識が変わり、違う視点で保育が実施されることが伺え、うれしく受け止めた。今後の成果に期待したい。

報告にある図書館懇話会については、市の総合計画に図書館の充実があり、親しみやすく利用しやすい図書館が位置づけられている。懇話会を設置し、2回が開催

され計画策定に向け準備が始まっている。夏以降には、市民交流センター内の図書館について方向付けが出され、これに懇話会として協議が進められる。

小丸山遺跡の火災については、岡谷、松本中山と火災が続いている。市としても対応しているが、ご理解をいただきご協力願いたい。

その他の中では、合併記念式典があるが、式典イベントに小中学生の参加を校長会を通じて依頼したところ、学校としての協力が得られ全校の参加が決まり、保護者あての文書で教育委員会からも依頼することとした。小学生150名、中学生200名程度で吹奏楽を中心に演奏される予定となっている。

○ 報告第1号 6月の行事予定等について

丸山こども教育部次長

資料に基づきこども教育部関係予定説明

- ・6月は、市議会定例会が主なもの。
- ・12日の合併記念式典では、全小中学校の児童生徒による演奏に参加願いたい。同日、陸上記録会が予定されているが、委員長には大会長としてご挨拶願いたい。
- ・次回定例教育委員会について、6月28日火曜日、午前11時30分から桔梗小学校開催を提案。

百瀬委員長

次回定例会は、委員の都合が付けばただいまの日程でお願いしたい。

委員

了承

神戸生涯学習部次長

資料に基づき生涯学習部関係予定説明

- ・恒例の春の文化展が開催されるので、市民の作品をご鑑賞願いたい。

百瀬委員長

報告について質疑があればお願いしたい。

赤羽こども教育部長

市議会定例会の初日が6月1日から2日に繰り下げられたので、訂正をお願いし委員長の日程をご配慮いただきたい。そのほかの本会議、最終日には変更がない。

百瀬委員長

質疑がなければ次に進めたいがよろしいか。

委員

異議なし。

○ 報告第2号 後援・共催について

百瀬委員長

後援共催については、特に報告等がある点についてお願いしたい。

丸山こども教育部次長

資料に基づきこども教育部関係後援承認説明

第2号について、資料記載内容を一部訂正

白木社会教育課長

資料に基づき社会教育課関係後援承認説明

竹原スポーツ振興課長

資料に基づきスポーツ振興課関係後援承認説明

百瀬委員長

後援承認について質疑があればお願いしたい。

ないので次の報告をお願いしたい。

○ **報告第3号 図書館計画懇話会について**

神戸生涯学習部次長

市広報5月1日号に基づき市内各区で市民交流センターの説明がされていく。全区を対象とし合同開催もあるため、現在64か所で予定されている。

懇談会については、月に1回程度を予定するが議論を深めるため12名で構成する小委員会を設置する。

百瀬委員長

質疑があればお願いしたい。よろしいですか。

委員

了承

○ **報告第4号 小丸山遺跡復元住居火災について**

百瀬委員長

報告4号について、説明をお願いしたい。

白木社会教育課長

(資料により説明)

- ・焼失した復元住居は、29.74㎡で平成12年に地元が茅集めをし、平成14年に改修したこと。
- ・今後、復元の可否（地元区検討）により火災保険金の額に相違があること。
- ・保険対応には、3か月以内に結論を出す必要があること。
- ・岡谷市では、15年前にも焼失経過があり、復元後の管理が困難なことから今後は復元せず、博物館内に規模の小さな住居を設置しているとのこと。

百瀬委員長

質疑があればお願いしたい。

ないので報告を了承したいがどうか。

丸山委員

新農構事業の関連では、焼失家屋を復元しない事へのペナルティは心配ないか。

白木社会教育課長

農村広場を新農構事業でつくったもので、復元家屋は新農構外の事業で対応したもの。

百瀬委員長

今後も心配あるが、対応をよろしくお願いしたい。

報告について、総括的に質疑があればお願いしたい。(なし)
それでは、議事に移ります。説明をお願いします。

4 議 事

- 議事第 1 号 塩尻市教育委員会規則で定める様式における敬称の取扱いに関する規則
塩尻市教育委員会訓令で定める様式における敬称の取扱いに関する訓令
塩尻市教育委員会告示で定める様式における敬称の取扱いに関する規程

丸山こども教育部次長

資料により説明

市長部局では、市長の長と様が二重になるとの考え方。全国的に見直しが進んでいる。様の取扱いには、いろいろな考え方があるが受ける文書の敬称をはずすもの。

百瀬委員長

質疑があればお願いしたい。

岡本委員

これまでの書類には、「教育委員会様」と印刷されているか。

丸山こども教育部次長

ほとんどのものに印刷されている。当面は、見え消しで使用する事としている。

岡本委員

「教育委員会」は、入れておいた方がわかりやすいのではないか。

百瀬委員長

可能ですか。

丸山こども教育部次長

可能です。

百瀬委員長

他に質疑がなければ、次に進みます。

- 議事第 2 号 平成 17 年度教育委員会基本方針(案)について

百瀬委員長

議題の量が多いので、本年度の特徴、昨年度との相違点をポイントに簡潔に説明願いたい。

全体を分割して協議するのでお願いしたい。

丸山こども教育部次長

資料により説明

- ・ コンピューター利用学習は、35 台体制にする。
- ・ 国際理解教育では、外国人英語指導助手を 1 校 1 名配置する。
- ・ 放課後対策では、檜川小学校を社協委託の児童クラブから児童教室にする。
- ・ 安全対策について、地域の各種団体に依頼して安全の確保を進める。

- ・食育講座を支所開催へ拡大する。

酒井こども課長

資料により説明

(子育て支援について)

- ・次世代育成支援対策推進法に基づき策定した「元気っこ育成支援プラン」に基づき支援を推進する。
- ・吉田ひまわり保育園は、建設に向け県と協議を進めている。
- ・支援情報を提供する「赤ちゃんのあったか通信」が保護者から好評であり、対象月齢を拡大する。
- ・経済的支援では、保育料を減額すると共に世帯内多子軽減を新設する。
- ・民間保育所の支援では、県の補助要綱の拡充に対応し補助額を拡大する。
- ・保育内容の向上のため、保育士配置を拡充し担任する児童数を減らす。
- ・幼年教育を充実するため、保育園・小学校の連携を推進する。

(青少年健全育成について)

- ・青少年交流は、昨年度の受入事業を訪問事業として継続発展する。
- ・児童クラブについて、昨年度から試行した開館時間を午後6時半まで拡大する。
- ・児童館では、講座開催により利用促進を図る。

(青少年補導センターについて)

- ・有害自動販売機設置台数県下一の状況を改善する。
- ・補導委員の先進地視察を新たに実施する。

樋口家庭教育室長

資料により説明

- ・室の新設にともない継続的、専門的な指導を推進する。
- ・現在の家庭教育に欠けるものを把握するため、職員の実地研修を推進する。

百瀬委員長

これまでの中で質疑があればお願いしたい。

私からお願いしたいが、学校教育の基本方針について、内容は昨年度とほぼ同様だが、簡潔にわかりやすくまとめられたい。重点目標についても精査できると思うので検討願いたい。

岡本委員

同様に基本方針中、「文化・伝統の尊重」をだれが行うのか不明でわかりにくいので簡潔にまとめられたい。

子育て支援では、デイ保育は低年齢児保育に含まれる特別保育事業か。

酒井こども課長

低年齢児保育は、0歳から2歳児の保育を指し、デイ保育とは別の事業となる。デイ保育は、明記してないが特別保育が広いこともあり等の中で扱っている。

岡本委員

デイ保育の利用実態、金額、当日利用などはどんな状況か。家庭の状況により、

母親の社会参加のための大きな要素となっている。講座等への参加も託児がなければ行けない母親も多く、突発的な利用が必要な場合もある。

小島担当課長

前任者であり代わって説明させていただく。デイ保育は保育園に入園していない児童を一時的に預かる事業として市内の4施設で実施しており、0から2歳児は1時間400円、3歳以上児は200円の保育料としている。利用状況については、多くの利用がある状態で実施園によっては当日申込に対応できない状況がある。具体的には、広丘西・日の出保育園の利用が多く、当日対応が出来ない場合も他の塩尻東・宗賀中央保育園での受け入れをしている。

酒井こども課長

保育園に入園していない児童の対応としては、デイ保育の他にファミリーサポート事業を子育て支援センターで実施している。

百瀬委員長

子育て支援については、教育委員も勉強中であるので資料があれば提供願いたい。

酒井こども課長

資料を提供させて頂くと共に日を改めて説明をさせて頂きたい。

百瀬職務代理

民間の保育所は何か所あるか。

酒井こども課長

市内には1か所となっている。

百瀬職務代理

経営状況はどうか。

酒井こども課長

大変に苦しいと聞いている。児童数が少ないこと、また施設も古いが保育士の賃金の支払が精一杯の状態。県の補助要綱の改正があり、補助額の増により対応する。

百瀬職務代理

子どもの数はどれくらいか。

酒井こども課長

12から13人ほどを預かっている。

百瀬職務代理

経営者は継続の希望をもっているか。

酒井こども課長

今後も継続する考えと聞いている。

百瀬職務代理

補助対応をお願いします。

丸山委員

学校教育について、2学期制やクラス替えを希望する親が多い。特に中学校では、クラス替えがないことによりつらい状況に置かれる子どもがあると聞いている。学

校によりクラス替えの有無があるが、要望を学校にすれば実現するものか。

学校ボランティアについて、学級運営などの教育支援ボランティアのように積極的に活用してもよいのではないか。数人の子どものために授業が成り立たない例もあり、ADHDなどの子どもに付いているだけでも授業への効果があると考え。市の教育の特色としてもよいのでは。

藤村教育長

2学期制、クラス替えは、学校の実情により各校で決定することとしている。

2学期制は、丘中学校と広陵中学校が実施しており、3年目を迎える。市教育センターでも検討を始めており、実施状況を校長会へ報告し研究委員会で検討を加えていく。クラス替えも同様で、3年生の段階や5年生の段階など各校の実情によって実施されている。

しかし、各校に任せるのではなく情報の交換を進めながら子どもにとってよい方法を検討している。保護者から要望があれば、学校に直接していただければよいが、言いにくい面があるようであれば教育委員会に出していただければ対応する。

丸山委員

保護者には、他校と異なる状況について不公平感がある。実施状況を理解したので、学校に希望を出していただくよう説明する。

藤村教育長

学校支援ボランティアについても、広丘小学校では国際理解教育に地域の英語の堪能な方が入って指導している。学校間の情報交換の場を設け対応したい。

百瀬委員長

クラス替えの実施状況についても資料があれば提供願いたい。

基本的には、実施について学校が定めるものと理解してよいか。

藤村教育長

学校が決定している。教育委員会が検討し方向付けがされれば、校長会のなかで協議したい。

百瀬職務代理

青少年健全育成について、柳川市との交流は、昨年とは反対にこちらから行くこととしているが、規模、計画内容、また、昨年の評価はどうか。

酒井こども課長

派遣する児童の募集について、校長会に協力依頼をした段階。2泊3日で松本空港から出発する予定。安くてよい宿泊先の手配など、先方と調整をしている。

藤村教育長

昨年は塩尻中学校、両小野中学校からそれぞれ15人ずつの参加で交流ができた。子供たちにとっても環境が変わることによりよい刺激からの変化があり、よい面の評価が多い。柳川からきて欲しいとの要望もあり、各校3人で18人の生徒を派遣したい。費用は、1泊は市の施設を利用し、ホームステイ1泊とし、一人あたり5千円程度の負担にとどめたい。

百瀬職務代理

よい評価であれば推進していただきたい。また、他の市を検討してもよいのではないか。

酒井こども課長

来年度以降は、姉妹都市を中心に考えたい。

藤村教育長

檜川小学校が袋井市へ40人に児童を派遣する計画をしている。費用負担は、一人2千円とし学校職員と市職員が引率する。

百瀬職務代理

子どものためにより経験となるので推進願いたい。

百瀬委員長

友好都市、袋井市との計画についても記載願いたい。

丸山委員

子育て支援のなかの「子育てべんり帳」は、どのような内容か。

防薬ネットの設置については、農地の中にある保育園の保護者より、以前より設置の要望があったのでほっとしている。市内の同じような状況の園はないか。もし希望があれば対応をお願いしたい。

洋式トイレ改修も保育士さんより和式便器に直接座ってしまう子が増えて困っているときいている。保育士さんの負担や衛生上の問題も考え、洋式化は必要になってくると思われる。保護者の声を聴いて適切に対処してほしい。

酒井こども課長

「子育てべんり帳」については、実物を提出したい。出生届の際、窓口で贈呈している。

防薬ネットについては、桔梗ヶ原保育園へ設置する。同様の環境では、広丘南保育園が畑と隣接しているが、耕作者とも連携し対応している。新設する吉田ひまわり保育園についても果樹園が隣地となるため、建設時に検討したい。

保護者要望については、毎年保護者会と市長との懇談の場を設け、要望についても把握するようにしている。

洋式トイレは、年次的な改修計画を設け対応している。

百瀬職務代理

和式トイレについては、日本文化として考えたとき寂しさもある。小学校へ上がったときはどうなるのか。

酒井こども課長

トイレ改修は、全部洋式にするのではなく、和式のトイレも残している。

丸山こども教育部次長

トイレについては、たとえば広丘小学校の学校評議員会では意見が二つに割れている。和式を希望する母親からは、誰が座ったかわからないからとの声も聞かれる。

百瀬委員長

農薬散布については、時間規制など制限があるのではないかと。

赤羽こども教育部長

野菜に使用できない農薬が隣の畑の野菜にかかる場合もあり、市としても補助制度を設けて防薬ネットなどの普及に努めている。風向きによっては、2キロ以上飛散する事もあり、農家も気をつかって消毒をしている。

百瀬委員長

次世代育成支援にかかる計画内容は。

酒井こども課長

現在製本中であり、完成しだい配布したい。

百瀬委員長

2頁下段のかっこ内の給食は、不要ではないかと。

丸山こども教育部次長

訂正する。

岡本委員

2頁の事業計画中、2、3、5、6、8の(4)について、16年度は推進とされていたが、17年度では「促進」としている。意味からは推進が適当ではないかと。

丸山こども教育部次長

推進と促進の使い分け方法として、推進は自分たちが行い、促進は関係団体等により対応していただくものと使い分けている。学校で対応していただくものを促進と変更したが精査させていただく。

丸山委員

外国人英語指導助手が中学校1名体制となったが、英語科の先生方との連携がうまくいかず、その能力が充分生かされていない例を見ている。AET一校1名体制が充分生かせる様連携を進め、子供たちの教育に活かせるよう対応願いたい。

丸山こども教育部次長

AET連絡会を設置しているので、その中で活用について調整する。

百瀬委員長

時間もより次の説明をお願いしたい。

白木社会教育課長

資料により説明

(社会教育について)

- ・生涯学習推進プランの策定委員を新たに公募する。
- ・情報誌「しおじり21」の中学生版を新たに発行する。
- ・総合文化センターの空調設備改修を実施する。
- ・9分館の整備を支援、内2分館は新設（内1分館SNR関連）

(文化芸術について)

- ・市民音楽祭を新規事業として実施する。
- ・長野県移動美術展は、10年ぶりの開催となる。

- ・小岩井秀鳳日本画展を5年前の瀧川照子展に続き開催、その後は当分予定がない。

(文化財について)

- ・檜川村合併にともなう増がある。
- ・木曾平沢地区の重要伝統的建物群保存地区選定は、市の指定を受け、国の選定を予定している。
- ・小野家住宅は、建物の傷みがあり、詳細な調査が実施されていないため、奈良文化財研究所へ調査委託する。
- ・上問屋手塚家住宅は、重要文化財指定に向けて調査するもの。

(公民館について)

- ・おおむね昨年度と同様の計画としている。
- ・講座関係の託児予算を3倍とした。
- ・IT化について、総合文化センター情報体験室を1階に移転し、市内の団体委員の指導を得て活用
- ・檜川村の公民館事業に市との相違があるため、交流を推進する。

6月19日開催の公民館研修集会へ檜川地区関係者の参加を予定

百瀬委員長

以上について、質疑があればお願いしたい。

丸山委員

分館の建て替えについて、補助金の割合や順番その他の条件はあるか。

白木社会教育課長

区長を通じた地区要望があればほぼ全件が対象となるよう対応している。新築、改修について、5割の補助としている。新築は、金額も大きくなるため、実施計画に位置づけて対応する必要がある。

百瀬委員長

文化財中、贅川の深澤家文書の整理については、報道があったが内容は。

白木社会教育課長

東京大学に古文書が寄託されている。

武居生涯学習部長

4月末に東京大学に出向き状況を確認してきた。文書の重要性としては、当時の商家としての経営内容が克明に記されているとのこと。漆器を現在の京都に運搬して売り、古着を買い付け新潟方面で売るといった活動が当時の商業の様子を示している。古文書は、現代語にほとんど訳されているが、三代に渡る栄枯衰勢がありプライバシーにもかかることから、関係者と公開範囲を相談する必要があること。

深澤家は、重要文化財となるが関係者の連絡会を設け公開方法を検討したい。

白木社会教育課長

檜川村が実施した調査報告書を配布したので参考にされたい。国の重要文化財指定は、現在告示待ちの段階となっているが確実に指定されると考えている。

丸山委員

市民音楽祭が新たに開催されるが、檜川村の閉村式で東京芸術大学の演奏がありすばらしかった。穂高町では、芸大の学生が直接中学生を指導する計画があると新聞に掲載されていた。サイトウキネンでも専門家が子供たちの指導をしており、塩尻市でも明大マンドリン演奏が単なるイベントでなく子どもと専門家との交流を通して子供たちの動機付けになるような対応を希望する。

白木社会教育課長

委員のご提言のとおり、市出身のミュージシャンから子ども達の指導をしていただけのような計画を進めている。開催するジャンルは多種多様であり、市出身者としては、ジャズドラマーとして著名な洗馬出身の中野祐次さんからの、吹奏楽から作曲までの幅広い指導を期待している。

北澤文化会館館長

レザンホール主催事業の中でもプロによる演奏クリニックを実施している。昨年度の好評を受け、本年度も計画をしている。

百瀬委員長

それでは次の説明をお願いしたい。

白木社会教育課長

資料により説明

(蝶の博物館について)

- ・10周年記念事業を実施する。

山崎短歌館館長

資料により説明

- ・吉江孤雁と坪内逍遙展を新規に実施する。
- ・百人一首初心者講座を月2回開催から土曜日通年開催に拡充する。

武居生涯学習部長

博物館大会で不在の館長に代わり説明する。

(平出博物館について)

- ・平出遺跡史跡整備では、16年度3棟の復元住居を設置したが、17年度4棟を増設する。18年度に一部オープンを予定している。

(本洗馬歴史の里資料館について)

- ・洗馬焼と菅江真澄先生の資料を中心としている。
- ・佐原修一郎、郷原古統展は、作品数が多く過去に例のない規模で実施している。

神戸生涯学習部次長

資料により説明

(図書館について)

- ・レファレンスについては、例年300件ほどの利用がある。

白木社会教育課長

資料により説明

(檜川地区文化施設について)

- ・事業計画に掲載した4施設の活用をはかる。

丸山委員

図書館と家庭教育室の連携を進めていただきたい。

図書館の会議で読書推進活動の一環で家庭の日の活用を提案させていただいたが、今回の基本方針で家庭の日の扱いは家庭教育室のみに思うが、こども教育部という組織を生かしてそれぞれの部署の連携を深めて欲しい。池田町では、テレビが子どもに与える悪影響を講演を通して保育園保護者に伝え、家庭の日を活用して親子のふれ合いの大切さを啓発したと聞いている。

神戸生涯学習部次長

家庭の日については、教育委員会の中でも担当は明確ではないが、ノーテレビデーは16年度の中でも対応している。

酒井こども課長

家庭の日については、青少年のなかで対応しているが、市民の周知は低い状態にある。事業計画の中には含めているが強い取り組みとはしていない。

丸山委員

家庭の日にこだわるのではなく、例えばそれを活用してかつて長野県教育委員会から出された共有クローバープランの一つ、スイッチを切る、それはテレビに限らずあらゆるスイッチだが、という試みを実践してはどうかを伝えたかった。最近の少年犯罪をみても幼稚で想像力の欠如から引き起こされている感があり、現状を確認し、子育て中の母親にも危機意識を持って欲しいと思う。

藤村教育長

家庭の日については、青少年健全育成と家庭教育室で事業計画をもっているので、各課で工夫して啓発活動を推進していく。

丸山委員からもクローバープランについて提言をいただいております、読書、あいさつなど統合したかたちがとれないかと考えている。

岡本委員

百人一首初心者講座の内容は。

山崎短歌館館長

信州大学の学生が信州かるた会を主宰しているので指導をしていただいている。参加している子ども達から毎週の開催を要望されている。現在は、20人ほどの参加者があり、減少傾向にある短歌館の入場者数確保の一端でもある。

百瀬委員長

参加者は、子どもだけか。

山崎短歌館館長

親も一緒に参加し、読書などもしている。

岡本委員

百人一首は競技的な方向付か。

山崎短歌館館長

競技要望があれば将来的に検討していく。現在は、短歌の愛好者を拡大するもの。

岡本委員

競技かるたは、和歌の心から離れる気がする。読むリズム、語感や意味、時代背景などかるた文化を味わうような面を拓げていくのがよいと思うが。

山崎短歌館館長

文化的な位置づけをしたいと考えている。かるた大会も初心者型で伝統に触れる内容にしている。指導している学生には、競技色が強い面もある。

藤村教育長

かるた競技を目指す子どももいるので分けて対応している。

百瀬委員長

短歌館の事業にアルプス詩歌文学館マップが掲げられているが、塩尻市内からのネットワークを築く構想はないか。松本市は、会員制で市内の文化施設の案内を一括提供している。共通した取り組みにより入館者の増加、文化振興につながるのではないか。

武居生涯学習部長

市内6施設一体のものはない。各施設の特色があり、平出では友の会、協力会を設けている。協力会については、運営面を助けていただいております。本洗馬歴史の里資料館、蝶の博物館、古田晁記念館にもある。館長会を通じての連携はあるが、各館の分野の相違があるため、総合的な取扱いは検討が必要だと考える。

アルプス詩歌文学館は、短歌を取り上げて横の連携を進めるもので、市内の各館は共通券による多少の割引特典を持たせ来館者の利便性、利用者の増加をはかっている。

百瀬委員長

各館の利用者の拡大、文化振興への協力をお願いしたい。

次の説明をお願いしたい。

竹原スポーツ振興課長

資料により説明

(スポーツ振興について)

- ・スポーツ施設の充実には、小坂田公園市民プールの防水工事を追加する。
- ・施設予約システムは、現在市体育協会では受け付けているが、インターネットによる申込受付ができるようにし、市民の利便性を高めていく。幅広い市民対応を可能とするため、システム稼働後も現行の申請書を用いた予約受付を継続する。

山田男女共同参画課長

資料により説明

(男女共同参画について)

- ・男女共同参画基本計画について、13年度から5か年間の計画期間が経過して

おり見直しを推進する。

- ・女と男セミナーでは、合併にともない檜川地区を重点としたい。檜川地区では、これまでに男女共同参画への対応がないため、懇談会等を通じて実態を把握しながら推進する。
- ・合併メモリアルハーモニーセッションについては、実行委員会を立ち上げ事業の名称を含め検討し開催する。

青木人権推進室長

資料により説明

(人権教育について)

- ・同和の名称を削除した計画としているが、推進委員会等を含め従前の取り組みを推進していく。
- ・豊かな心を育む市民の集いについて、青少年及び男女共同参画と合同により人権週間前日イベントとして開催する。

川手文化会館副館長

資料により説明

(文化会館事業について)

- ・指定管理者制度の導入により、運営効率の向上をはかる。
- ・鑑賞事業について、檜川デリバリーコンサートまでを終了している。
- ・合併記念事業として、NHKのBS日本の歌を誘致し、8月25日に開催する。
- ・ホームページの活用については、16年度にリニューアルし更に充実する。
- ・信濃の国大合唱フェスティバルについては、今年度から懇談会を設け内容を検討していく。

丸山委員

合併記念行事として、9月3日に男女共同参画、9月4日にレザンホールがあるがそれぞれの位置づけは。

山田男女共同参画課長

男女共同参画課で実施するものは、特に檜川地区を意識するもので全市的な位置づけは考えていない。合併記念とすることも実行委員会の中で検討する。

百瀬委員長

文化会館の管理運営の中で競争原理を位置づけることは、文化振興の印象からは強すぎるきらいはないか。

北澤文化会館館長

よいものをより安くする姿勢をPRするもので、文化会館みずから取り組む内容としてご理解いただきたい。

百瀬委員長

そのほかに質疑はありますか。

全体の事業目標を通じて総括的にありませんか。(なし)

それでは委員の意見等を反映し事務を進めてください。各委員がお気づきの点は、

事務局へご連絡ください。

次に進みます。

○ 議事第3号 奨学生の選考について

<非公開部分削除>

議事4号の説明を願いたい。

○ 議事第4号 「こんにちは教育委員会」の実施について

小島教育企画担当課長

資料により説明

- ・日程として、授業参観、給食試食、定例教育委員会、市民との懇談を予定するもの。
- ・最終日程は、別途送付する。
- ・資料中、参加者は全員としているが後日確認させていただく。
- ・授業参観のクラスを3年生までとしているが、学校からはどのクラスも可とされているので広く参観願いたい。
- ・懇談会への市民参加は、広く周知する。

百瀬委員長

市民との懇談内容について、委員から希望があれば事務局へご連絡願いたい。
質疑がないのでその他について説明願いたい。

5 その他

○ 合併記念式典について

丸山こども教育部次長

(資料に基づき説明)

- ・小学生は、繰り返し時間を調節できる1曲を予定し檜川、贅川小学校は歌で参加する予定。中学生は2曲を予定している。2曲目は、信濃の国でサイトウキネン版を演奏することとしている。
- ・委員の鑑賞をお願いしたい。

百瀬委員長

質疑はありますか。ないので次を説明願いたい。

○ 教育委員会ホームページについて

小島教育企画担当課長

- ・さきの決定項目のみ提出したこと。
- ・掲載内容が多岐に及ぶため、資料送付により内容の検討をいただきたいこと。

百瀬委員長

質疑はありますか。(なし)

次を説明願いたい。

○ 蝶の博物館の名称について

白木社会教育課長

(資料に基づき説明)

百瀬委員長

この件については、さきに説明のあった経過、内容について理解しているので次に進めたい。

説明をお願いしたい。

以上で予定の内容を終了するが、全体の中で質疑があればお願いしたい。

岡本委員

蝶の博物館の名称変更について、「自然博物館」は決定か。

武居生涯学習部長

前回教育委員会で説明した以後、他の場でいただいた意見等を検討し、自然史から自然としたもの。

博物館の名称は、法によって登録博物館、類似博物館、相当博物館があり、登録、類似博物館までは、県の登録が必要となる。相当博物館は、登録が不要で現在の蝶の博物館が該当しているので引き続き使用したいと考えている。内容については、今後とも充実整備を進めていく。

岡本委員

「自然博物館」では、館のイメージが漠然としたものになってしまう印象がある。たとえば、「山岳博物館」、「自然史館」などは内容がわかりやすく、来館者にも有効と感じる。「里山の自然博物館」など内容のイメージがわく名称もよいのではないか。

藤村教育長

名称の最終決定は、9月の市議会となる。

百瀬委員長

教育委員会としての方向をもって市議会へ提案することになるが、時間的な余裕はあるか。

武居生涯学習部長

名称については、市民も入る博物館協議会で検討されたものであり、この名称でお願いしたい。

百瀬委員長

博物館協議会での名称の議論についてはどうか。

白木社会教育課長

昆虫博物館との意見もあったが、自然博物館でまとまった。2月の協議会の中でも方向付けされており、来館者の増加にもつなげたいと考えている。また、基本計画等長期計画の中でも拡大していく意味があるのでご理解いただきたい。

百瀬職務代理者

博物館には、塩尻市立も付くのでイメージはできやすいのではないか。

藤村教育長

館長の尽力により内容も充実し、順調に運営されている。名称には、館長のイメージも込められており重要な要素として考えてよいのではないか。博物館が地域の人や子ども達など誰からも愛されるよう、市の自然を総体的に観る印象で考えたい。

百瀬委員長

名称は、その他の項目とされているが決定の必要は。

武居生涯学習部長

その他ではあるが、名称としてご決定をお願いしたい。教育委員会としての決定が報道されることにより、市民にはイメージが固定してしまうこともあり、その他で非公開としているのでよろしくをお願いしたい。

百瀬委員長

ほかにご意見がなければ名称として了承したいがどうか。

委 員

異議なし。

6 閉 会

○ 午後0時36分に閉会する。

以上

平成17年6月28日

署 名

委 員 長

同職務代理者

委 員

委 員

教 育 長

記 録 職 員 教育総務課
教育企画担当課長
